

滝

豊かな水と自然がつくり出す滝。北関東にも、全国にその名が知られる滝がある。本県からは「袋田の滝」、栃木県は「華厳の滝」、群馬県からは「吹割の滝」。四季折々の自然が織り成す絶景、迫力、そして癒やし。ぜひ訪れたい3スポットを紹介する。

# 四季折々変わる風情

## 袋田の滝

太子町の袋田の滝は日本三名瀑の一つに数えられ、国の名勝にも指定、茨城県を代表する観光地になっている。高さ120m、幅73mの大岩壁を4段に落下するさまは迫力があり、観光客を魅了。近年、インスタ映えするスポットとしても人気を集める。

滝は約1500万年前、海底火山が爆発し、噴出物が冷やされてできた断崖に、久慈川の支流・滝川が流れ落ちる。地質学的にも貴重なジオサイトだ。

春は新芽吹く木々の緑と清らかな水音が織りなすハーモニー、夏はダイナミックな水

しぶきとその勢いで描かれる虹、秋はあでやかな紅葉に化粧し、冬は神秘的な凍結「氷瀑」が見られ、四季折々に姿を変える。別名「四度の滝」とも呼ばれ、一説には、西行法師が「四季に一度ずつ来ない」と、真の風情は味わえない」と絶賛したからとも伝えられている。

「こう音とともに間近で眺められる第1観瀑台、滝の全景が分かる第2観瀑台があり、

つり橋やハイキングコースからも、素晴らしい流れを見ることができる。2015年には「恋人の聖地」に選定され、展望台にはモニュメントが設置され、カップルが写真を撮る姿も目立つ。

【メモ】観瀑台へは大人300円、子ども150円の料金が必要。上流には袋田の滝とともに国の名勝に指定された生瀬滝がある。

(蛭田稔)



岩壁を4段に落ち、四季折々の風情があることから「四度の滝」とも呼ばれる袋田の滝＝太子町袋田